

- ✓ 以下の診療情報提供書の病歴記載雛形(造血器腫瘍)をご活用ください。
- ✓ 日常診療と勝手が異なることにご留意ください。記載のあるものはエキスパートパネル検討や C-CAT 入力に関わる項目として全て必要ですし、逆に記載のないものは原則不要です。
- ✓ 詳細は記載例もご参考ください。

【臨床診断】(診断日:)

【がん種情報】

・遺伝子異常:

・染色体異常:

【病期(CGP 出検日)】

【移植歴】

【CAR-T】

【生活歴】喫煙歴: 多飲酒歴:

【既往歴】

先行疾患:なし 小児基礎疾患:なし

重複がん:なし 多発がん:なし 既知の遺伝性疾患:なし

HTLV-1: HIV: HBV: HCV:

【家族歴】血液疾患: 腫瘍性疾患:

【現病歴】

202 を主訴に受診

202

→ と診断

202

(最良総合効果: 中止理由: 増悪確認日:)

202

(最良総合効果: 中止理由: 増悪確認日:)

【骨髓スメア(202//)】

<スメア画像+所見要約>

【フローサイトメトリー(202//)】

検体:

<所見要約±FCM 画像>

【病理検体(202//)】

検体:

腫瘍含有割合:【 】%

<病理画像+所見要約>

【臨床診断】 急性骨髄性白血病 (診断日：2026/04/30)

がん種情報は疾患によって異なります。
(p4-8をご確認ください)

【がん種情報】 WHO分類：AML, NOS FAB分類：M2

- ・ 遺伝子異常：白血病キメラスクリーニング陰性
- ・ 染色体異常：46,XY [20]

判明している遺伝子異常/染色体異常、
ならびに提出した検査種を記載ください。
(検査結果レポート添付で代用可です)

【病期 (CGP出検日)】 初発

初発／第1回再発／第2回再発／第3回再発以降／その他 (不明を含む)
から選択してください。

【移植・CAR-T歴】 なし

移植歴ありの場合は、現病歴としての詳記＋以下の情報提供をお願いします。
： (自家・同種、【 】回、 (血縁/非血縁、 骨髄/末梢血/臍帯血、 202//)、 移植
後キメリズム【 】% 骨髄/末梢血 (202//, FISH/STR)

【生活歴】 喫煙歴：あり 多飲酒歴：なし

病型移行など該当ある場合は現病歴に詳記く
ださい。

【既往歴】 高血圧

先行疾患：なし 小児基礎疾患：なし

重複がん：なし 多発がん：胃癌 (2015年) 既知の遺伝性疾患：なし

HTLV-1：不明 HIV：不明 HBV：HBc-Ab(-), HBc-Ag(-), HBs-Ag(+), HBV-DNA(-) HCV：陰性

【家族歴】 血液疾患：なし 腫瘍性疾患：大腸癌 (父)

(検査結果レポート添付で代用可です)

【現病歴】

2026/03/30、倦怠感を契機に近医を受診

-> 白血球増加、貧血、血小板減少（WBC 35000, Hb 5.5, Plt 2.0）を指摘され当院紹介

2026/03/31 骨髄検査：芽球84.5%、急性骨髄性白血病（M2）と診断

2026/04/01- 寛解導入療法（IDA/Ara-C）

（最良総合効果：CRi 中止理由：完遂 増悪確認日：該当せず）

これらの情報が含まれていれば、カルテ記事のコピペでも結構です（スペルアウトや必要情報の抜粋など、特別な編集は不要です）。

2026/04/30- 地固め療法①（HD-AraC）

（最良総合効果： 中止理由： 増悪確認日：）

血縁ドナーは認めず、今後の同種造血幹細胞移植適応および治療方針検討中。

診断・予後・治療に関わる情報を詳述ください。
ただし、血液検査結果、遺伝子/染色体検査結果、骨髄検査結果/病理レポートは別途いただいておりますので、その内容については要点のみで十分です。

特に、がん薬物療法/移植/CAR-T療法に関して、以下の情報は必須となります。

- 治療開始日、治療終了日
- 治療効果：（疾患によって異なります。 p4-8 をご確認ください）
- 中止理由：腫瘍増悪（確認日）/有害事象（事象名）/その他（自由記載）

無治療経過観察/支持療法のみの場合は、その旨を記載ください。

【骨髓スメア（2026/03/31）】

過形成髄。芽球84.5%。芽球高度増加のためM/E比の評価は困難。芽球は中～大型でN/C比高値、核クロマチン繊細、核小体を認める。一部に顆粒球系への分化を認め、ペルオキシダーゼ染色は一部陽性。AML M2に矛盾しない。

スメア画像ご提供のため、検査レポートをカラーでご提供ください。所見要約は検査レポート記載あれば省略可です。

【フローサイトメトリー（2026/03/31）】

CD34、CD117、CD13、CD33、CD38、HLA-DR陽性で、MPO partial expressionを示す芽球集団を約80%認める。単球系分化を示す所見は目立たず、AMLに合致する。

所見要約をご記載ください。
FCM画像（カラー印刷）もご提供ください。

【病理検体（2026/03/31）】

骨髓クロットは細胞密度約90%の過形成髄。CD34/CD117陽性芽球のびまん性増殖を認め、急性骨髄性白血病に矛盾しない。

病理画像ご提供のため、病理レポートをカラーでご提供ください。所見要約は病理レポート記載あれば省略可です。

1. 急性骨髄性白血病、組織球症及び樹状細胞腫瘍

【がん種情報】 WHO : 【 】 FAB分類 : 【 】

・ 遺伝子異常 :

t(15;17)(q24;q21):PML/RARA, t(8;21)(q22;q22):RUNX1/RUNX1T1, inv(16)(p13.1q22):CBFB/MYH11, t(3;21)(q26;q22):RUNX1:MECOM, t(6;9)(p22;q34):DEK/NUP214, t(9;11)(q21;q23):MLLT3/KMT2A, t(6;11)(q27;q23):AFDN/KMT2A, t(11;19)(q23;p13.3):KMT2A:MLLT1, t(4;11)(q21;q23):KMT2A:AFF1, t(11;16)(q23.3;p13.3):KMT2A/CREBBP, (11q23)転座, t(1;19)(q23;p13):TCF3/PBX1, inv(3)(q21.3p26.2)_t(3;3)(q21.3;q26.2): RPN1_MECOM, ABL1変異, FIP1L1/PDGFRA, FLT3-ITD, FLT3-TKD, NPM1変異, CSF3R変異, IDH1変異, IDH2変異, JAK2変異, MPL変異, CALR変異, KIT変異, TP53変異

・ 染色体異常 :

-5/del(5q), -7/del(7q), +8, del(20q), +12, del(17p)

判明している遺伝子異常/染色体異常、
ならびに提出した検査種を記載ください。
(検査結果レポート添付で代用可です)

* 最良総合効果 : CR/CRi/CRh/PR/failure /other[]/unknown

下線部は白血病キメラスクリーニング対象遺伝子です。陰性かつそれ以上は不明であれば、その旨明記ください。

* CD33 : 陰性／陽性／不明 (骨髓／リンパ節／末梢血)

2. 骨髓異形成症候群、 骨髓増殖性腫瘍及びその類縁腫瘍

【がん種情報】 IPSS-R : 【 】 輸血依存 : なし／あり (赤血球、血小板)

・ 遺伝子異常 :

t(15;17)(q24;q21):PML/RARA, t(8;21)(q22;q22):RUNX1/RUNX1T1, inv(16)(p13.1q22):CBFB/MYH11, t(3;21)(q26;q22):RUNX1:MECOM, t(6;9)(p22;q34):DEK/NUP214, t(9;11)(q21;q23):MLLT3/KMT2A, t(6;11)(q27;q23):AFDN/KMT2A, t(11;19)(q23;p13.3):KMT2A:MLLT1, t(4;11)(q21;q23):KMT2A:AFF1, t(11;16)(q23.3;p13.3):KMT2A/CREBBP, (11q23)転座, t(1;19)(q23;p13):TCF3/PBX1, inv(3)(q21.3p26.2)_t(3;3)(q21.3;q26.2): RPN1_MECOM, ABL1変異, FIP1L1/PDGFRA, FLT3-ITD, FLT3-TKD, NPM1変異, CSF3R変異, IDH1変異, IDH2変異, JAK2変異, MPL変異, CALR変異, KIT変異, TP53変異

・ 染色体異常 :

-5/del(5q), -7/del(7q), +8, del(20q), +12, del(17p)

判明している遺伝子異常/染色体異常、
ならびに提出した検査種を記載ください。
(検査結果レポート添付で代用可です)

* MDS: 最良血液学的改善(RBC/Neut/Plt) : あり/あり/あり

* PV/ET: 最良総合効果 : CR/PR/no response/PD/other[]/ unknown

* MF: 最良総合効果 : CR/PR/SD/PD/other[]/unknown

* CD33 : 陰性／陽性／不明 (骨髓／リンパ節／末梢血)

下線部は白血病キメラスクリーニング対象遺伝子です。陰性かつそれ以上は不明であれば、その旨明記ください。

3. 急性リンパ性白血病

【がん種情報】 髄外病変：なし／あり（縦隔腫瘍、中枢神経浸潤、精巣浸潤）

- ・ 遺伝子異常：
iAMP21, t(12;21):ETV6-RUNX1, t(1;19):TCF3-PBX1, t(9;22):BCR-ABL1, KMT2A(MLL)再構成
 - ・ 染色体異常： 染色体【 】本
 - * 最良総合効果：CR/CRi/CRh/PR/failure /other[]/unknown
 - * CD33：陰性／陽性／不明 （骨髓／リンパ節／末梢血）
- 判明している遺伝子異常/染色体異常、
ならびに提出した検査種を記載ください。
(検査結果レポート添付で代用可です)
- 下線部は白血病キメラスクリーニング対
象遺伝子です。陰性かつそれ以上は不明
であれば、その旨明記ください。

4. 悪性リンパ腫、慢性リンパ性白血病

【がん種情報】

・ Stage: 【 】 B症状: -/+ Bulky病変: -/+ 節外病変: -/+ (骨髄、CNS、肝臓/消化管、肺、腎臓、副腎、乳房、精巣、眼窩、副鼻腔、末梢血) 隣接節外病変: -/+

・ IPI: 【 】

DLBCL -> NCCN-IPI: 【 】

FL -> FLIPI2: 【 】 , $\geq 6\text{cm}$: -/+, volume: low/high

MCL -> MIPI: 【 】

MALT -> MALT-IPI: 【 】

WW-LPL -> ISSWM: 【 】

PTCL -> PIT: 【 】

ENKTL -> PINK: 【 】 , nadal/others, 遠隔LYM: -/+

CLL -> Rai分類: 【 】 , Binet分類: 【 】 , IGHV変異: -/+, CLL-IPI: 【 】

ATL -> JCOG分類: 【 】 , ATL-PI: 【 】 , iATL-PI: 【 】

MF/SS -> TNM分類: T 【 】 N 【 】 M 【 】 B 【 】 , stage: 【 】

* ML: 最良総合効果 : CR/CRu/PR/SD/PD/RD/other[]/unknown (PET +/-)

* CLL: 最良総合効果 : CR/PR/SD/PD/other[]/unknown

* CD19/20/25/30/CCR4 : -/+, -/+, -/+, -/+, -/+ (骨髄/リンパ節/末梢血)

FCM画像があれば
記載不要です。

5. 多発性骨髄腫

【がん種情報】 基礎疾患：なし／あり（MGUS／くすぶり型骨髄腫） 髄外病変： -/+ 中枢浸潤： -/+
ALアミロイドーシス： -/+ Ig沈着： -/+ 血清・尿中Mタンパク：【 】 骨病変(CRAB)： -/+ MRIで
2ヶ所以上の5mm以上の巣状骨病変： -/+/?

・ 染色体異常：

17p-, t(4;14):IGH-FGFR3/NSD2, t(14;16):IGH-MAF, t(11;14):IGH-CCND1, 8q24 split:MYC, 1q+

* 最良総合効果：sCR/CR/VGPR/PR/SD/PD/RD/other[]/unknown

判明している染色体異常、ならびに提出
した検査種を記載ください。
(検査結果レポート添付で代用可です)